

11月号 No. 157

社協だより

平成30年11月1日発行
社会福祉法人 三宅島社会福祉協議会
(東京都三宅島三宅村坪田 3053)
TEL 04994-8-5888 (代表)
FAX 04994-8-5892
I P 5-3155

平成30年度の社協会員を募集しています！

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して

社会福祉協議会は地域の皆さんに支えられた民間の福祉団体です。住み慣れた地域の中で家族や友人、そして隣近所の人たちとより良い関係を築き、互いに支え合いながら生活を送ることは、安心して暮らせる街づくりの第一歩です。安心、安全な福祉のまちづくりを目指し、私たち社会福祉協議会は皆さま一人一人地域福祉の主役として、社会の風土や支え合いの仕組みを自ら築きあげられるよう支えていく大切な役割を担っています。

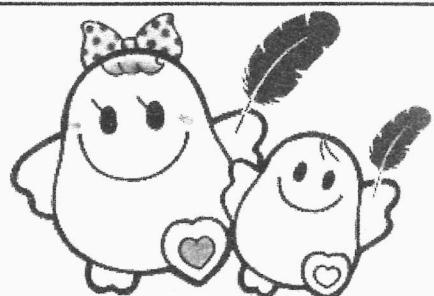
三宅島社会福祉協議会は、三宅村や東京都社会福祉協議会から受ける補助金や委託費を主な財源としていますが、この他にも寄付金や共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）の配分金、そして皆さまからの会員会費などが財源となっています。行政の福祉施策とは違う住民主体の地域福祉が円滑に実施されるよう年間を通して皆さまに会員加入のお願いをしています。

赤い羽根共同募金にご協力下さい！

赤い羽根の募金活動は、人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、地域を良くする一歩になります。

三宅島社協では、10月1日より地域の商店等にご協力いただき、赤い羽根共同募金運動を行います。この運動は、各都道府県ごとに行われており、集まった募金はその都道府県内で使いみちが決められ、寄付した地域で役立てられています。地域の社会課題を解決するための活動や、様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成されます。三宅島社協は今年度、車両購入の費用を一部助成していただきました。

また、大規模な災害が発生した際の備えとして、各都道府県の共同募金会において、その一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては災害ボランティアの活動支援や被災地を支えるために使われます。



福祉まつり会場内での落とし物として、女性物の腕時計をお預かりしています。
お心当たりのある方は、社協（TEL 8-5888）まで、ご連絡ください。



11月の会食会はお休みです！

次回会食会は12月15日（土）に開催予定です！12月会食会の詳細につきましては次号の社協だより、IP端末にて掲載いたしますのでご確認ください。



受験生チャレンジ支援貸付事業

東京都では受験に伴う塾代、受験料及び交通費と宿泊費の貸付を行っており、三宅島では社会福祉協議会が窓口となります。

この貸付は無利子で高校や大学等に入学できた場合は返済が免除されます。対象者は受験生（中学・高校の3年生及びそれに準じる者）を持つ世帯で、世帯の総所得金額が一定基準以下であることや、原則連帯保証人が必要等いくつかの条件をすべて満たす必要があります。また、借用書の取り交わしや印鑑証明書の提出等手続きや審査に時間がかかりますのでご希望の方は早めにご相談ください。

～貸付金の内容は下記の通り～

学習塾等受講料貸付金 限度額20万円 <夏季・冬季講習も対象です>

受験料貸付金限度額・高校受験 27,400円 大学受験 80,000円

島しょ特例として交通費・宿泊費もそれぞれ 23,000円・30,000円を上限に貸し付けます。

収入要件基準：世帯人数4人（両親と子供二人）の場合 3,864,000円（総収入）

基準は世帯人数やひとり親等で変わりますので社協までお問い合わせください。



【☎ 8-5888 担当：斎藤】

「西日本豪雨災害募金」へのご協力ありがとうございました

今年は台風や地震による自然災害が続いている発生し、各地で大きな被害が出てています。

三宅島社協では7月の西日本豪雨災害に対し、島内の各商店にご協力いただき、8月から9月末にかけて募金箱を設置させていただきました。下記の通り、大変多くの募金が集まりました。集まった義援金につきましては、日本赤十字社「平成30年7月豪雨災害義援金」に送金いたしましたのでご報告します。皆様のご協力、本当にありがとうございました。

義援金額 106,206円

Twitter 更新しています！



みなさんフォローお願いします！

アカウント→@mjshakyo

三宅島社会福祉協議会



社協のホームページも公開しています！

是非ご覧ください！

判断能力に不安がある方を助ける制度として「成年後見制度」が役立つケースが増加しています。

契約等の代理権や本人に不利益をもたらす取り決めを取り消しできる取消権を持つ「成年後見制度」の信頼性について脚光を浴びる一方で、利用申立てから後見人決定まで時間がかかるため急病による入院のためすぐ手伝ってほしいという方や身体が不自由ではあるが判断能力を保持している方にとって制度の仕組み上頼りにくい一面があります。

財産の管理を頼みたいけど後見制度が利用できない、そんな時に活用されることがあるのが「財産管理等委任契約」です。「財産管理等委任契約」とは、自分の財産の管理やその他の生活上の事務の全部または一部について、信頼できる人へ委任するものです。任意代理契約とも呼ばれ、民法上の委任契約の規定に基づく「財産管理等委任契約」は、当事者間の合意のみで効力が生じ、内容も自由に定めることができます。

「財産管理等委任契約」は本人に正常な判断能力があることを前提とし、本人自らが受任者を監督し、不正があれば解任できるという考えに立っています。逆に、本人の監督能力が衰えると、受任者の権限濫用を防止できなくなるおそれがあります。実際にも、本人の判断応力が衰え、任意後見契約を発効させるべきにもかかわらず、「財産管理等委任契約」を継続するといった事案も報告されています。

財産管理等委任契約のメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">判断能力が不十分とは言えない場合でも利用できる。	<ul style="list-style-type: none">任意後見契約と異なり公正証書が作成されるわけではなく、後見登記もされないため、社会的信用は十分とはいえない。
<ul style="list-style-type: none">財産管理の開始時期や内容を自由に決められる。	<ul style="list-style-type: none">成年後見制度のような取消権はない。
<ul style="list-style-type: none">本人の判断能力が減退しても財産管理委任契約が当然に終了せず、特約で死後の処理を委任することも可能。	<ul style="list-style-type: none">任意後見制度における任意後見監督人のような公的監督者がいないため、委任された者をチェックすることが難しい。

「財産管理等委任契約」を利用される際は信頼している家族や知人、福祉関係者と相談のうえで、弁護士のアドバイスを受けることをお勧めします！

書類の手続きや日常的な金銭管理について不安なことなどございましたら、

三宅島社協（8-5883）までご相談ください！

今月のボランティア募集

三宅島内では、認知症・転倒防止のためのサロンが各地区で開催されております。サロンでは、近くに暮らす住民と福祉健康関係機関などとの交流活動を行っています。サロンでは、会を支えるボランティアの募集も随時行っております。どなたでもご参加できますので、見学や活動内容の詳細を確認したい方は、各サロンまでお問い合わせください。

ボランティア活動をする方は、事前にボランティア活動中における事故やケガなどを補償するボランティア保険への加入をお勧めします。島内でボランティア活動を希望している方、活動する方に対し、社協ではボランティア保険料の一部助成を行なっております。(登録制)また、ボランティアを必要とする個人、団体などからの相談・受付をしております。

【認知症・転倒予防のための木曜サロン】

日 時：毎週木曜日 9:30～13:30
場 所：神着老人福祉会館
問合せ先：めぐりケアセンター
☎ 090-2655-1529 (前田)

【認知症・転倒予防のための阿古サロン】

日 時：毎月第1・3火曜日 9:30～11:45
場 所：阿古福祉会館(旧阿古保育園)
問合せ先：包括支援センター☎ 5-1832

【認知症・転倒予防のための伊豆サロン】

日 時：毎月第2・4水曜日 10:00～13:15
場 所：伊豆老人福祉会館
問合せ先：包括支援センター☎ 5-1832

☎ 8-5888 Eメール mjshakyo@jeans.ocn.ne.jp

職員紹介

島での暮らしはたくさんの方に支えられて

岩手県生まれの山本康子(やまもとやすこ)です。ふるさとよりも島での生活が長くなり、噴火で自然の怖さを2回経験しました。島に来た当時は、相談する友達もいなかつたため、島の生活になじめずにいました。ふるさとに帰りたいと何度も思いましたが、叔父さんや叔母さんが「大変だけど子供のために頑張れよ!」と励ましてくれたのでここまで頑張ることができました。そんな叔父や叔母も今はいなくなり、寂しくなりました。



山本康子

40代後半で介護の仕事に携わり、年齢と共に心配事も多くなりましたが、仕事を終えた後、利用者の皆さんに「ありがとう!」「頑張ってください!」と声をかけられると、反対に元気をもらう事もあり、もう少し頑張ってみようと自分に言い聞かせながら働いています。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

社協の求人情報！

社協非常勤職員募集中！

【主な業務】 利用者支援、事務、送迎 等

【勤務時間】 9時00分～17時30分までの間
内 7時間 (曜日時間は応相談)

【資格要件】 普通自免許

【待遇】 時給 1,000円

お問い合わせ・申込みは、採用担当 齋藤まで

☎ 8-5888 IP☎ 5-3155

訪問介護ヘルパー募集中！

【主な業務】 清掃・調理・入浴介助等訪問支援

【勤務時間】 8時30分～17時30分までの間
(曜日時間は応相談)

【資格要件】 ホームヘルパー2級以上、普通自免許

【待遇】 時給1,250円

地域の掲示板

“風のカフェ”

(認知症等介護者のためのカフェ)



『風のカフェ』では、ご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護をご経験された方々のお越しをお待ちしています。また、介護を受けられているご家族の方も、一緒にご参加いただけます。

どうぞ一緒に楽しい時間を過ごしましょう。また、『風のカフェ』では一緒に運営していただけるボランティアを募集しています。コーヒーを淹れる、おしゃべりをする、ゲームを一緒にする、どんな形でも構いませんので、是非一緒にしていただければと思います。

次回開催：11月3日(土) 9:00～11:30 (毎月1回：土曜日)



次々回は12月8日(土)の開設を予定しています。

開設日は、村役場にご協力いただきIP告知端末でもご案内頂いております。そちらもご覧ください。

問い合わせ：5-1470（みやけじま風の家）5-0904（三宅村役場福祉健康課 福祉係）

坪田地区ビーチクリーンクラブ からのお知らせ

～長太郎池ビーチクリーンのご案内～

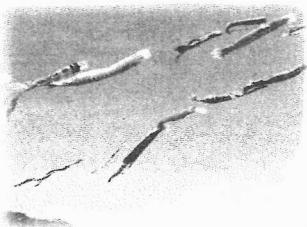


日 時：11月18日(土) 午前8時30分から1時間程度

集 合：「長太郎池前」 ※雨天の場合は中止。軍手、ゴミ袋はクラブで用意します。

飾らなくなった「こいのぼり」あいませんか？

毎年、湯舟グランド（中央診療所上）に沢山の「鯉のぼり」を飾っていますが、長年使用している鯉のぼりも傷みがひどくなっています。つきましては、ご家庭で飾らなくなった鯉のぼりがございましたら、ご寄付していただけると幸いです。ご寄付頂ける場合は、下記までご連絡下さい。



【連絡先】神着地区子ども会 2-1275（早川）まで

社協だよりでは、地域で活動されているサークルや住民活動のお知らせを「地域の掲示板」としてお知らせするお手伝いをしています。新規メンバーの募集やイベント情報など掲載を希望される団体は、社協事務局 8-5888までご連絡ください。内容によっては、掲載できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。



マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください

第13回
井口全子さん
の物語



神着在住の井口さん

誰かに何かをしてあげたいキモチが大切よ。

昭和10年5人兄弟の末っ子として神着の大久保地区で生まれた井口全子（まさこ）さん83歳。父は大工で母は裁縫士だった。子供の時は何に困る事なく過ごしたような気がするという。20歳で結婚し、2人の子どもを授かった。嫁いだ家は名家だった。（島民の皆さんにはご存知でしょうが、神着地区には牛頭天王祭というお祭りが毎年開催されています。）このお祭りを京都の八坂神社から持ってきて1820年に牛頭天王祭として始めたのが、井口家を含む3家だった。この3家を「禰宜（ねぎ）の家」と神着の人々は呼ぶ。

「禰宜（ねぎ）の家」には神輿が座敷に上がり、そこで役員と一族が盃を交わす儀式を行う。嫁いだ年の夏が、丁度神輿が座敷に上がる年だった。ただ、神輿が座敷に上がるだけではない。そこにお膳を用意して、若い衆にもたくさん食べ物を用意する。そのお膳に出すためのとうもろこしや落花生などの農作物を自分で作っている。井口家の年間スケジュールは「牛頭天王祭」を中心に決まる。初めての夏はわからない事しかなく、姑がほとんどやってくれた、今では息子とお嫁さんがやってくれているそうだ。「私はその手伝いをしているだけよ。」と。（現在では禰宜（ねぎ）の家は井口家のみとなり、毎年神輿は井口家の座敷に上がる）これだけ聞いても大変であることが容易に想像できる。しかし井口さんは「みんなの喜ぶ顔が見たいから。それだけよ。」と笑顔を見せてくれた。「誰かに何かをしてあげたいキモチ」を大切にしているだけだという。最近も、友達の誕生日会を行ったそうだ。これも「みんなの喜ぶ顔が見たい」というその思いで企画したという。26歳の時に役場に入庁した。58歳の退職の時まで、一生懸命勤めた。たくさんの変化が辛い時もあった。でも、辞めたいと思ったことはなかった。「みんなもこのくらい辛い、みんなもこのくらい頑張ってる。」そう思えば、どんな事も我慢できたという。現在の楽しみは友達とランチを楽しむことだという。最年少が81歳、最年長は90歳！その会をまとめるのも井口さんの役目だ。息子さんやお嫁さんもとてもよくしてくれていて、本当にありがたいと話してくれた。園長先生も勤めた井口さんに子育ての秘訣など若い人にアドバイスを聞くと、「難しい事はわたしにわからないけれど、わたしなんかのアドバイスがなくても若い人は若い人で色々な事を考えていると思う。若い人には若い人の考え方があるのだから、それでいいと思うわ。」と笑った。この言葉を聞いて本当に素敵な人だなと思いました。誰にも、どんな人にも平等に愛をもって接し、相手の意見は尊重する。感謝も決して忘れない。とてもすごい事を、自然にできてしまう。私も、年を重ねたら井口さんの様な人になっていいと思いました。女性としても人としても本当に素敵なお人だと思います。急な取材のお願いを快く受けて頂きありがとうございました！とても感謝しております！その素敵なお人柄がじみ出るような、心が温くなるようなマイ・ストーリーでした！

貴重なお話を聞かせて頂いた取材の時間、井口さんにお会えた事、とっても幸せでした！ありがとうございました！

